



連合徳島

vol. 287

〒770-0942 徳島市昭和町3丁目35の1
徳島県労働福祉会館内
tel. 088 (655) 4105
fax. 088 (655) 4113
E-mail info@tokushima.jtuc-rengo.jp
http://tokushima.jtuc-rengo.jp/

発行：日本労働組合総連合会徳島県連合会

編集責任者 島 和 久



当面の日程

- ◎ 12月9日(土) 連合徳島女性委員会第29回定期総会
連合徳島青年委員会2018総会
2017連合徳島男女平等フォーラム(阿波観光ホテル)
- ◎ 12月11日(月) 2018春季生活闘争徳島県
共闘会議発足総会 (労働福祉会館502号室)
- ◎ 1月9日(火) 2018連合徳島新年旗開き
(徳島ワシントンホテル)

連合徳島第29回定期大会

「次の飛躍へ 確かな一歩を」をスローガンに 持続可能な社会をめざす 多様性に満ちた運動を強化

連合徳島は、11月28日に徳島市の阿波観光ホテルにおいて、「次の飛躍へ 確かな一歩を」をテーマに、連合徳島第29回定期大会を開催し、来賓・役員・代議員等112名が出席した。

新居会長代行の開会あいさつに続き、自治労・田中代議員、J・P労組・近藤代議員を議長団に選出した。



連合徳島代表 森本会長があいさつ

連合徳島を代表して森本会長は「2018年春季生活闘争では、引き続きすべての働く者の『底上げ・底支え』『格差是正』による継続した所得向上の実現と、社会保障と税の一体改革の実現の取り組みなどにより将来不安を払拭し、消費の拡大をはかっていく。加えて、賃金の社会的水準を重視した取り組みを継続するとともに、とりわけ中小企業労働者や非正規雇用労働者の処遇改善のためにも、『大手追従・大手準拠』などの構造を転換する運動『サプライチェーン全体で生み出した付加価値の適正分



連合四国ブロック代表 連合愛媛弓立会長があいさつ
連合本部代表 安永副事務長があいさつ

の橋渡しとなる2年とする②非正規雇用労働者・未組職労働者・若者の支援と労働相談センター設置による対応強化③働くことを軸とする安心社会に向けた政策・制度実現の取り組み④労働条件の底上げ・社会的横断化の促進とディーセント・ワークの実現⑤男女平等社会の実現に向けた取り組み⑥政策実現に向けた政治活動の強化⑦持続可能な社会に向けたディーセント・ワークの実現、の主要課題7点について提起した。続いて、小谷財政局長から第2号議案2017年度連合徳島一般会計剰余金処理案、2018年度連合徳島会計予算(案)について提案し質疑討論の後、満場の拍手で承認された。質疑では、自治労徳島県本部・大谷代議員より11

月12日投票の阿南市議会選挙での橋本幸子(自治労推薦)、福谷美樹夫(自治労推薦)、仁木啓人(南部地協推薦)、3名の当選、三好市長選挙での黒川征一の再選に関して、構成組織ならびに連合徳島組合員への感謝、労働基準法等の改正に向けた連合本部の動向に関するマスコミ報道による混乱があったものの、連合全体として心を合わせていくことの重要性が補強された。

第5号議案では、退任役員となった藤岡副会長、下副会長の表彰について矢嶋副会長の提案し承認され、新旧役員挨拶の後、藤岡副会長が大会宣言(案)を提案し採択した。

第4号議案・2018年(2019年度)連合徳島役員改選(案)は、鎌谷役員推薦委員会副委員長と鈴木選挙管理委員長から報告・提案され、満場の拍手で承認された。

第5号議案では、退任役員となった藤岡副会長、下副会長の表彰について矢嶋副会長の提案し承認され、新旧役員挨拶の後、藤岡副会長が大会宣言(案)を提案し採択した。

連合東京VSTの活動と実例を学習 21人に修了証書交付

第17期 ボランティア・サポートチーム養成講座

11月11日労働福祉会館内502会議室において、第17期ボランティア・サポートチーム(VST)養成講座の第5回講座を開催し、構成組織等から22人が参加した。

冒頭、主催者を代表して連合徳島森本会長から挨拶の後、「連合東京のボランティア活動紹介と実例」の講演をアサポーター(VSC)宮地由紀子代表より受け「連合東京では、1995年の阪神・淡路大震災発生への対応として街頭でのカンパ活動や

現地救援隊を派遣した。その後1997年にボランティアアサポーター隊として結成された後、連合東京ボランティアアサポーターチーム(VST)となった。研修を修了した人はVSCで登録され2017年10月現在で550名となっている。VSCに登録されると運営事務局の活動や研修を教える側となり、新しく参加してきたVSTのメンバーを育成していく。また、『ボラサポ@通信』の発行やボランティア募集も行う。地域での活動では、防災減災の

意識啓蒙活動、防災教室、障がい者のサポート活動や他団体と連携をとり避難訓練も実施している。私たちは専門家の集団ではなく、研修修了が終わるではないが、道路で人が倒れていたら、『声を呼ぶ』など、知識を活かして初動行動を行ってこそ目的の達成である」と説明を受けた。

修了式では、連合徳島森本会長より3回以上の講座出席者21名に修了証書が手渡された。



各構成組織から102人が参加

連合徳島新執行部体制

役員	会長	副会長	事務局長	副事務局長	財政局長	執行委員	山本	藤田	吉野	宮本	川口	松本	尾関	矢嶋	鎌谷	田村	大谷	新居	森本	
名	氏	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名
組織名	自治労	自治労	自治労	自治労	自治労	自治労	電力総連	U・Aゼンセン	全水道	交通労連	情報労連	自治労	自治労	電力総連	U・Aゼンセン	自治労	自治労	自治労	自治労	自治労



各構成組織から22人が参加

ディーセントワーク
全国一斉行動

「働きがいのある人間らしい仕事」の 実現求め、徳島駅前でアピール行動

連合徳島は、ディーセントワーク世界行動デー・全国一斉行動を10月14日にJR徳島駅前で行い、各構成組織から51人が参加し、街頭宣伝・ピラ配りを行った。

冒頭、森本会長から第48回衆議院議員選挙投票への呼びかけの後、連合徳島民間大手部会新居会長から「連合を含む162の国と地域の約1億8100万人の労働者が結集する国際労働組合総連合(ILO)は、公正なグローバル化を通じた持続可能な社会をめざして、毎年10月7日を『ディーセントワーク世界行動デー』と定め、世界中で一斉行動を呼びかけている。ディーセントワーク(働きがいのある人間らしい仕事)を実現するため、労働時間の見直しや女性活躍の推進、格差・貧困の解消、雇用拡大・安定などをめざしている。しかしながら、格差が拡大する我が国の現状を見れば、『ディーセントワーク』が確立され定着しているとは言えない。今後、より一層の理解と浸透をはかる必要があり、普及と定着にご協力を願います」と訴えた。

続いて、連合徳島事務局長から、最低賃金の概要説明の後、「徳島地方最低賃金審議会での審議の結果は徳島県の地域別最低賃金は10月5日に改定され716円から24円アップの740円となった。また、特定最低賃金は、造作材・合板・建築用組立材料製造業が824円から16円アップの840円。はん用機械器具、生産用機械器具、業務用機械器具製造業は857円から20円アップの877円。電子部品・デバイス・電子回路、電機機械器具、情報通信機械器具製造業は822円から19円アップの841円と、それぞれ改定することができた。今後も更なる底上げをめざしていく」と訴えた。



「ディーセントワーク」実現に向けて
アピールする新居会長代行

長時間労働の是正

一過労死等防止月間啓発

連合徳島は、11月10日に「クラシノソコアゲ応援団! RENGOKAMPAN」と過労死等防止啓発月間を



テーマにJR徳島駅前で行い、各構成組織から30人が参加し、街頭宣伝・ピラ配りを行った。

冒頭、連合徳島森本会長から「いまだに、長時間労働をさせている企業があり、労働時間の適正な把握のために使用者が講ずるべき措置が行われておらず、周知徹底の必要性がある。過重労働・長時間労働とともに過労死等の一因となっているメンタルヘルス・パワハラ防止対策の取り組み強化も必要である。時間外・休日・深夜労働の削減や不払い残業の撲滅に向け、労働基準監督官による法違反への適正・厳格な対応をはかり労働者の健康を確保するため、36協定未締結事業場に対する監督指導、勤務時間管理の適正化、安全衛生委員会の設置・開催等、労働安全衛生体制の整備が必要である」と述べた。

続いて、徳島県公務員サービス労働組合協議会吉野事務局長からは「公務職場では職員数の減少と行政サービスの多様化により仕事量の増大で超過勤務、多忙化が深刻になっているが、労働基準法の適用除外とされておき、超過勤務があるのに時間外手当の支給がされない。健康管理上の配慮から勤務時間管理や超過勤務削減に向けた実効性ある取り組み、長時間労働の是正、ワークライフバランスの改善を進め、すべての労働者の立場になり働き方を見直



道行く人にアピールを行う弁士ら

女性活躍、働き方 改革の着実な実行を

四国ブロック女性委員会

連合四国ブロック女性会議が11月2日・3日愛媛県勤労会館で開催され、連合本部および四国四県より24人(うち連合徳島5人)が参加した。

連合高知女性委員会井上委員長が司会進行。四国ブロック代表として連合愛媛弓立会長が「先日の衆議院選挙において四国は2名から5名に議員が増えた。しかし、与党勢力には変わりがなく、安倍総理に反省能力があるなら今後の4年間で、子や孫の世代にツケをまわさない2012年に民主党がやろうとした計画をすすめるべき。自民党政権は民主党が提案した政策をうまく利用している。今の内閣は、『民主党内閣でよかった内閣』と言える。本日学んだ事を地域や職場に持ち帰り活かしていただきたい」とあいさつ。

連合本部より、畠山男女平等局長と佐藤雇用均等局役員から「今なぜ女性活躍、働き方改革なのか」「201

8春季生活闘争における男女平等の課題」「連合第4次男女平等参画推進計画の進捗状況」について提起された数値目標と役員育成は両輪でやっていく、また、女性のネットワークが重要であると強調した。

2日目は、井上男女・雇用均等総合局長から「中央女性集会において新しく就任した相原事務局長は、男女平等は連合にフラッグを立てて進めていく最重要課題だと挨拶された。執行部も女性役員が19名となった。地方連合においても女性会長が2名となった。引き続き男女平等運動を進めていきたい」とあいさつ。その後各県報告と意見交換が行われ閉会した。



井上総合男女・雇用平等局長が問題提起



連合本部と四国ブロックから24人が参加

狭山県内集會

狭山事件の再審を求める

再審開始へ世論形成が重要

10月31日労働福祉会館別館5Fホールで約120名が集まり、狭山県内集會が開催された。主催者を代表して森本共闘会議議長より「東京をはじめ全国各地で狭山集會が開催されている。下山・川窪鑑定などから万年筆は偽物と出た以上檢察がどのような反証を出してこようとも裁判所も最終的には弁護側が出した鑑定結果を認めざるを得ないのである。一刻も早く再審となるよう共闘会議は一丸

進めていく」とあいさつをした。部落解放同盟から中原副執行委員長、民進党から庄野代表、社民党から前川代表がそれぞれ連帯あいさつをした。

続いて、「狭山事件を考える徳島の会」代表の木村弁護士から「狭山事件を取り巻く情勢と課題」と題して講演。東京高裁・東京高検・弁護団の3者協議が34回にもわたって行われたことを説明し、「186点におよぶ証拠開示がされた。森鑑定・魚住鑑定・川窪第3鑑定そ

た万年筆ではない。以上3点から石川さんの無実が明白である。今後の課題としては、徹底した証拠開示と鑑定人尋問の事実調べ、そして再審開始に向けて大きな世論形成が非常に重要である。」と説明した。

青年共闘から石川さんのメッセージも披露され、シユプレヒコールと合唱、最後に森本議長の団結がらばろうで参加者全員の意味統一を確認し閉会した。



木村弁護士が情勢と課題を説明



各団体から120人が参加